

事務事業名		(仮称) 山田家資料館地域資料調査事業		目標設定日	平成29年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	政策	03	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	施策	01	文化財の保護・保存・活用	内線電話	8262
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	平成24年度 ~ 平成29年度	

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	千曲川水害関係資料の基礎調査を進め、過去の災害の歴史を明らかにし、市民に啓発する。結果として、防災に対する意識を高める。
	現状・課題	平成24年度から関係資料を調査している。調査結果がまとまり次第、報告書の刊行や特別企画展示等を開催し、市民に対し啓発を行うことが必要である。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市が（仮称）山田家資料館を所有しているため。		
事務事業概要	（仮称）山田家資料館や中野市域に所在する歴史資料群の調査、研究を行い、報告書を刊行する。また、市民に対する歴史の啓発のため、特別企画展で資料等の公開を行う。			
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	特別企画展の開催		年2回開催（春、秋）	
	（仮称）山田家資料館地域資料調査（千曲川流域災害関係資料の総合調査）		1回	
	ふるさとレポート発表会における成果発表		1回	

事務事業インプット	項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円		2,553,000	1,016,000
補正予算		円		0	0	—
合計		円		2,553,000	1,016,000	761,000
決算（見込）額 A			円	1,458,250	611,240	—
財源内訳	国庫支出金	円		0	0	0
	県支出金	円		0	0	0
	市債	円		0	0	0
	その他特定財源	円		0	0	0
	H29は予算額 一般財源	円		1,458,250	611,240	761,000
正規職員数			人	1.04	0.84	0.83
人件費 B			円	6,875,440	5,549,880	5,483,810
総事業費 A+B			円	8,333,690	6,161,120	6,244,810
市民1人当たりコスト			円	189	141	144

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
（仮称）山田家資料館特別企画展の来館者数		増加	目標	1,000	人	1,000	人	1,000	人
			成果	731	人	354	人	—	
成果指標と目標値の設定理由			目標						
			成果					—	

調査・研究を進め、結果を公開することが、市民に対する歴史の啓発になり、過去の千曲川流域水害を通じて、市民が過去の水害状況を再認識する機会をつくることのできるため。

平成29年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	例年どおり実施						

